

トラまち TOPICS 2022 7月～12月

一般財団法人 世田谷トラストまちづくりは

「ひと・まち・自然」が共生する世田谷

の実現をすすめています。

財団の取り組みや成果など、
ホットな話題をご紹介します



フィールドでの“体験・学び・発見”イベント

トラまちでは、年間を通じて身近な自然と触れ合うイベントや、地域との関わりを深めるような催しなどを実施しています。オープンエリアである屋外フィールドのイベントは、コロナ禍でも制限が少なく開催でき、五感を活かした様々な企画に、たくさんの方に参加いただきました。

▲「こん虫博士が教えてくれる！夏の生きものセミ」

区立桜丘すみれば自然庭園[桜丘4-23-12]では、7～8月に「すみればの夏休み」を開催。写真はそのキックオフイベントの様子。



▲「鳥を呼び込む居場所づくり大作戦 in 里山農園」

講師の野鳥ボランティアの協力を得て、12月に区立次大夫堀公園内里山農園[喜多見5-5]にてイベントを開催。野鳥の生態について講義を受けた後、参加者みんなでレンガを詰んで鳥の水浴び場をつくり、巣箱も設置しました。

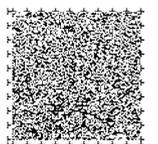
素敵なイラストは、小学生の参加者が看板用に描いてくれたものです。



▲「ビジターセンターミニイベント」

10月に、ビジターセンター[成城4-29-1]で「土じょうモンスターをさがせ！」を開催。ふかふかな落ち葉の下、そこに広がる小さな生きもの(土壌生物)の世界を観察する親子。11月にも、「いきものたちに冬の隠れ家をプレゼント」という興味深いイベントも。

SNSで、イベントの様子や、
最新情報が見られます!



New 新たな拠点が誕生しました！



次代に継ぐためにまた一步、これまで地域の方々と進めてきたことが、実を結びました。

1つ目は、弦巻で市民緑地の新規契約がされたこと。

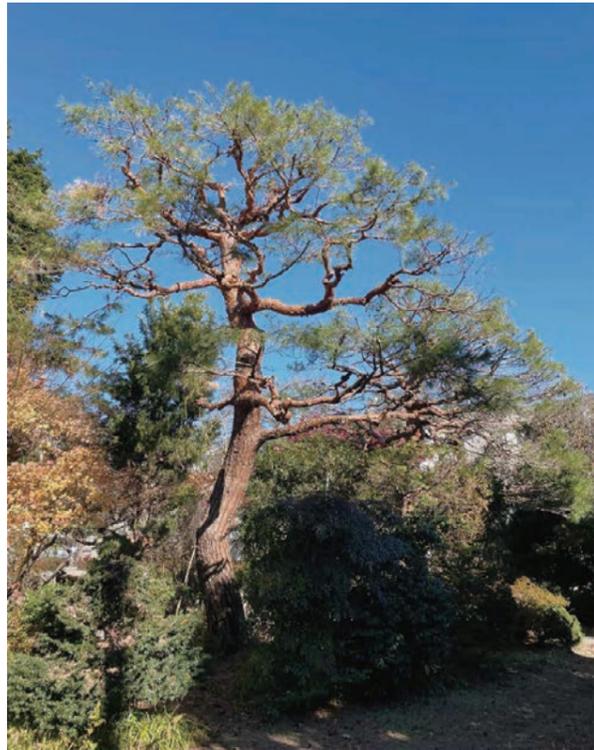
2つ目は、南烏山と野沢で、2件の小さな森が登録されたこと。

そして3つ目は、財団が空き家等地域貢献活用相談窓口として建物の所有者から相談を受け、活用したい団体とのマッチングが1件、成立したこと。

これからもトラまちは、民有地のみどり保全をはじめ、地域内コミュニティを広げ、共に助け合い、絆を育むための取り組みを進めていきます。

10月に契約した松の木鈴木市民緑地 [弦巻4-22-2] ▶

弦巻はかつて松林の台地で、ここの所有者は「松の木の鈴木さん」と呼ばれていました。陽があたり美しく輝くマツをはじめ、カシワやモミジ、カキやユズなど多数の果樹が植わる、みどり美しい庭園です。



市民緑地とは▶

都市に残された民有地のみどりを保全し、地域に憩いの場を提供することを目的とした、都市緑地法によって定められている制度です。



小さな森とは▼

生きものの自然生態の保護や、まちに潤いを与えてくれる民有の緑地を登録することにより、区民共有の財産である都市の貴重なみどりを保全する、財団独自の制度です。



おねわみせて
ください！



▲南烏山六丁目小さな森

11月に登録された、南国の雰囲気漂うお庭。亜熱帯～暖帯植物やシーサーたちが、訪れる人を出迎えてくれます。



▲野沢3丁目テットーひろばの小さな森

子ども達の遊ぶ声を楽しそうに響きます。クスノキにかかるツリーハウスに、大人も冒険心がワクワク。こちらは12月に登録。



◀9月に誕生した“ぽーと”『ぽーとの間』

空き家等地域貢献活用相談窓口を通じて、ぽーときたざわ(北沢地域障害者相談支援センター)をご利用の方を対象にした、家庭的な活動場所が誕生しました。おひとりさまでも「ぽーと」と安心してつるがる空間ですので、ご利用される方それぞれが、ご自身のペースで気軽に過ごせる場になっています。

空き家等地域貢献活用相談窓口とは▶
世田谷区内にある空き家等(空き家、空室、空き部屋)を地域資源と捉え、相談窓口業務を区から受託しています。



参加 世田谷のトラスト運動・まちづくり活動の支え手



世田谷のトラスト運動や区民主体のまちづくり活動は、トラストまちづくり会員やご寄附、トラストボランティアなどたくさんの方々に支えていただいております。

トラストボランティアの方々には、緑地の保全活動や、イベントへの協力、普及・啓発活動などで支えていただいております。その中の1つ、成城五丁目猪股庭園解説ボランティアは、コロナ禍により活動休止していましたが、2022年8月から解説活動を少しずつ再開しています。

成城五丁目猪股庭園解説ボランティア▶

7月に復習会を実施し、2年半ぶりにメンバーが集まりました。不定期ではありますが、現在少しずつ解説活動を再開し、来園していただいていた方との繋がりも戻ってきました。



成城五丁目猪股庭園 [成城5-12-19]

旧猪股邸は、文化勲章を受章した建築家・吉田五十八氏の設計です。武家屋敷風の趣がある数寄屋造りの建物で、庭は回遊式の日本庭園となっています。



▲フラワーランド友の会

フラワーランド [瀬田5-30-1] 内の花壇管理や、地域の園芸講習会など、花による緑化活動を行っています。11月の「秋の菊展示」では、丹精込めて育てた菊の仕立物を多くの来園者に鑑賞していただきました。

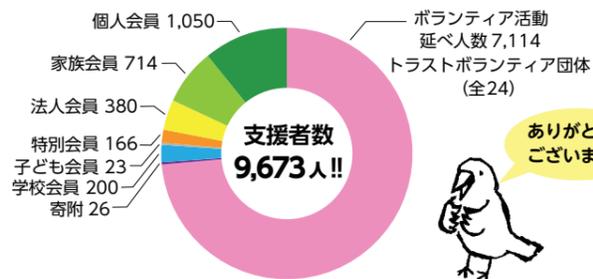


▲竹山ボランティア

12月のミニ門松づくりイベントに、材料の準備から当日の講師として協力いただきました。ボランティア活動で20年以上守り育ててきた喜多見五丁目竹山緑地(旧竹山市民緑地) [喜多見5-20] の竹に、ナンテンなどの縁起物を活けました。

いただいた支援の報告

～区民参加・連携・協働によるみどり豊かな環境共生・地域共生のまち世田谷～の実現のために、ご協力頂いた皆様、誠にありがとうございました。



ありがとうございます！



トラストまちづくり会費・寄附額(2022年1~12月)

| | トラスト基金 | まちづくり基金 |
|-----------|-------------------|----------|
| 会費 | 1,949,500円 | 204,500円 |
| 寄附 | 1,765,013円 | 8,807円 |
| 合計 | 3,927,820円 | |

世田谷の「ひと・まち・自然」を支える応援団としてご協力を！

トラストまちづくり会員・ボランティア募集など、詳しくはこちらからご覧ください。



連携

様々な方々と連携した取組



まちづくりデイ～人々の暮らしに根ざす世田谷らしさが表出！ 公益信託世田谷まちづくりファンド30周年イベント 2022.11.20-12.3

区民主体のまちづくり活動への助成制度30年の蓄積を14日間かけて伝えた「まちづくりデイ」。多くの方の参加と協働により17の企画を実施しました。



身近にある活動をwebや紙面で可視化する、自宅でも気軽にまちと接点を持つアイディアの提案、当時の実践者に直接話を聞く機会、助成制度を外部評価する企画、専門家から見る中間支援組織である財団の役割とファンド、若者の感性に触れながら今後を考えるセッション等々。多彩なテーマを通じて、ファンドが多くの区民の柔軟でオリジナリティあふれる実践を支え、その積み重ねが世田谷のまちを育ててきたことが明らかになりました。

公益信託方式としてのファンドは、2025年3月に終了を予定していますが、今後財団独自の助成事業の検討を進める中で、世田谷ならではの文脈を大切に、時代に合わせた創発的で横断的な中間支援組織として引き続き進めてまいります。



実施企画一覧はこちらへ

トラスボランティアグループと共に 企業や地域団体との連携による“みどりの保全”

成城三丁目緑地では、成城三丁目緑地里山づくりコア会議協力の下、社会貢献活動の一環で2009年から参加いただいているゴールドマン・サックスの社員ボランティアが3年ぶりに再開。また、岡本静嘉堂緑地バツタ広場ボランティアの活動にも徐々に世田谷総合高校の生徒が参加するなど、連携によるみどり保全活動も再開しました。



◀ゴールドマン・サックスの活動参加(9月) 今回は、うっそうと伸びた斜面沿いの下草を丁寧に刈り込んでいただきました。お陰様で、明るく風通しの良い緑地になりました。

世田谷総合高校の活動参加(10・11月)▶ 間引きした竹の活用や、落ち葉溜めの腐葉土を林床に撒くなど、自然循環を意識した緑地管理作業をしました。



トラまちTOPICS 2022 WEBアンケート実施中!

WEBアンケートにご協力いただいた方に、
“ヤモリのモリモリ”缶バッチをプレゼント!

より魅力のある情報を発信するため、
ご意見やご感想をお聞かせください。

回答期限：2023年5月7日(日)



実物大

WEBアンケートは
こちらから



一般財団法人 世田谷トラストまちづくり
SETAGAYA TRUST & COMMUNITY DESIGN

2023年3月発行
〒156-0043 世田谷区松原6-3-5
Tel 03-6379-4300(代表)
Fax 03-6379-4233

